

古い街並みと古民家の活用提案 ～愛知県知多市岡田地区（知多木綿発祥の地）～

松原研究室（建築・住居分野） 外山喜彩 野崎七海 藤井歩美

1. はじめに

1-1 背景

知多市は、知多半島に位置する人口約 84000 人のまちで、特産物としては梅、ペコロス、キンカン、きしめん、たまり醤油などがある。人口は 2009 年をピークに、以降はわずかに減少傾向にあり、人口構成では、15 歳未満よりも高齢者の方が多くなっている。

知多市の総合計画では、『あたらしく、知多らしく、梅香るわたしたちの緑園都市』を将来像としている。観光も重視しており、第 2 次知多市観光振興計画においては、「あたらしく、知多らしく、新たなご縁につながるおもてなし」を基本理念に挙げ、地域住民にとっても、訪れる人にとっても心地よい空間、また訪れたいと思う地域づくりを進めようとしている。自然や歴史、伝統文化などの魅力が守られるまち、市民が地域に誇りを持ち、市民が輝くまち、などを目指し、「知多市らしさの魅力の創造」や観光まちづくりなどを基本方針としている。

このうち、「知多市らしさの魅力の創造」では、古い街並みが残る岡田地区に着目し、今ある観光資源やイベントを活かすことで着地型観光の促進を目標としている。岡田地区とは、知多市の中央に位置する人口約 8000 人のまちで、江戸時代からの知多木綿の産地であり、保存会によって昔ながらの街並みが守られている。知多木綿は、一般的な使われ方以外に、辞書の表紙の内張や自動車の内装材などにも使われており、岡田には手織りを体験できる場所もある。岡田の東側には、知多木綿関連の古い建物が多く残っていて、築 130 年の古民家を改装したカフェや、パン屋、お食事処などもある。岡田の観光を盛り上げようと、「岡田いろはかるたスタンプラリー」や観光客向けマップも配布されていて、モデルコースも紹介されている。

知多市では、将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につなげることをねらいに、街並み保全重点エリアを含む地域を対象として、「知多木綿発祥の地・岡田“つむぐ”織姫のまちづくり構想」形成事業を進めており、形成事業は、調査、構想立案、展開の 3 つのステップから構成されている。地域の将来像に関するワークショップで意見収集も行っており、主な意見として、知多木綿の活用では、体験の充実と木綿といえば岡田のアピール、木綿を中心とした PR 戦略と情報発信、若者が関われるようなクリエイティブな取り組みなど、古民家の活

用では、クリエイター工房などの活動、アーティストレジデンスとしての利用、宿泊施設へのリノベーションなど、街並みの保全・活用では、通りに面した小さなお店点在、坂道を活かした散歩道の設定、観光案内所やカフェなど街並み散策の拠点づくり、などがあつた。

1-2 目的

そこでこの研究では、ワークショップでの意見等を踏まえて、岡田地区の振興につながるような何らかの企画・提案を行うことにした。

具体的には、街並み保全重点エリアの構想の提案、構想を模型で表現した「まちづくり模型ツール」作り、知多木綿を活かした古い建物の活用提案、これらの展示と意見収集と、岡田地区の魅力と上記提案についての SNS 発信などである。

1-3 方法

研究の方法は、以下のとおりである。

①岡田地区に関する基礎資料収集、②街並み提案と模型ツール作りについての情報収集、試案提示、意見収集、完成模型作成と提示・提供、③古民家活用についての情報収集、試案提示、意見収集、設計提案と提示、④SNS 発信のための情報・写真・資料収集、発信、意見収集、発信。

2. 諸活動の概要

2-1 活動の流れ

実施した活動は以下のとおりである。

2022 年 9 月～ 知多市岡田地区の基本情報収集

11 月 4 日 岡田いろはかるたスタンプラリー体験

12 月 22 日 知多市役所・知多市観光協会訪問（協力依頼）

2023 年 1 月 6 日 知多市役所訪問（内容説明）

1 月 31 日 街並み写真撮影

2 月 2 日 知多市役所訪問（打ち合わせ）

3 月 31 日 知多市観光協会訪問（内容説明）、街並み調査

5 月 12 日 街並み写真撮影

5 月 24 日 旧女子寮見学、株式会社オカトク訪問

5 月 25 日 知多市歴史民俗博物館訪問

6 月～ 古民家活用案作成、現状平面図作成

6 月 19 日 旧岡田屋見学

6 月 27 日 街並みのスタディ模型作成

6 月 30 日 街並み保存会会長に聞き取り調査

7 月～ Instagram による外部発信開始

- 7月20日 雅休邸見学と現地調査
- 8月～ Tik Tok による外部発信開始
- 8月中旬～ 街並み模型案作成
- 9月8日 知多市産業まつり担当者と打ち合わせ
- 9月29日 旧岡田屋・雅休邸の寸法等調査
- 10月～ 古民家活用提案のゾーニング案作成
- 10月1日 梯子獅子マルシェ知多市観光ブースの手伝い
- 10月13日 雅休邸展示用チラシの作成・印刷
- 10月28～29日 知多市産業まつり出展と意見収集
(街並み模型案と古民家活用提案図面)
- 11月12～13日 雅休邸での展示と意見収集(同上)
- 11月中旬～ 古民家活用提案図面作成、模型作成
- 12月3日 料理旅館榭磯にて街並み提案模型等提供に
ついでの打ち合わせ
- 2024年1月 料理旅館榭磯へ街並み提案模型等提供

2-2 活動内容と意見収集

①現地調査—街並み把握

11月に岡田いろはスタンプラリーを体験し街並み全体を把握した。登録有形文化財や古い建物があり古い街並みが残っていたが、外壁をトタン貼りにするなど外観等が変わってしまっている建物もあった。1月と5月には対象地域の写真撮影を行い現状の街並みを把握した(写真2-1)。



写真 2-1 街並み現地調査

②現地調査—図面採取

対象地域は、古い街並みの残る旧道沿いをメインとした(図2-1)。



図 2-1 街並み模型の対象地域

③市役所、観光協会、保存会との打ち合わせ・意見収集

9月上旬には、市役所、観光協会、保存会へ今回の企画内容を説明し、知多市産業まつりへの出展に賛同を得た。

④知多市産業まつりでの展示・意見収集

10月28～29日に観光協会のブースを借りて街並み模型の一部と旧岡田屋の活用提案パネルを展示し、意見収集を行った(写真2-2)。街並み模型については、「岡田地区について少しでも知ることができたか」との問いに対して、263人中258人(98%)が「そう思う」と回答した。自由意見としては、『全体像を見ることができてよい』という声が多かった。

旧岡田屋の活用提案パネルについては、できるだけ現状維持する提案と、リノベーションする提案のどちらがよいかと問うたところ、リノベーション(42%)よりも現状維持(58%)の方が多かった結果であった。

この展示後には、Instagramのフォロワーを約50人増やすことができた。



写真 2-2 知多市産業まつりでの展示と意見収集

⑤雅休邸での展示と意見収集

11月12～13日に雅休邸で街並み模型の展示と意見収集を行った(写真2-3)。岡田地区に関心の深い12人の参加があり、『岡田について考えてくれることが嬉しい』『自分の店に展示してはどうか』『とてもよくできている』などの声を得ることができた。



写真 2-3 雅休邸での展示と意見収集

⑥SNS発信と意見収集

岡田地区の既存SNSを調べたところ、カフェが個別に発信している例はあるが、総合的に取り上げたものはないことがわかった。そこで、7月からInstagramによる外部

発信を開始した。岡田地区の特徴を挙げるとともに、今回の様々な活動も適宜発信した。

⑦完成模型と設計案の提供

完成した街並み模型は、岡田地区唯一の旅館である「料理旅館柵磯」に置いてもらい、多くの方々が見たり組み替えたりできることになった。

3. 街並み活用提案

①対象地域

対象とする地域は、街並み保全重点エリアを含む、古い街並みが残る旧道沿いをメインとした。対象地域の建物を築年別に分類し（図3-1）、そのまま残す古い建物、外観が変わってしまっている建物、空き家、潜在的空き家、その他に分類した（図3-2）。

古き良き街並みの中には、昔ながらの外観が保たれている地域と、トタン貼りなどで外観が変化している地域が混在しているが（写真3-1,3-2）、外観が保たれている古い街並みエリアは現状を維持し、変化しているエリアは、必要に応じて古い街並みに馴染むような黒い板の外壁とするなど、外観の変更提案を行うこととした。

②模型ツール

こういった街並みの現状と提案を、模型ツールとして提示することとした。まずは、地形と現状の建物を1/200の模型で作成し、建物の外観を変更するなど変更がある場合は、変更する建物などを別途作成して、これらを抜き差ししできるようにした。こうすることで、模型を見るだけでなく、まちの人等がこれからの街のあり方を考えることのできるようなツールとした（写真3-5～3-10）。

具体的には、模型の底と地盤面に磁石を使用して、簡単に抜き差しできる方式とした（写真3-3）。抜き差しの有無は屋根の色で区別できるように、黒色の屋根は現状維持建物、茶色の屋根は外観変更を行う建物とした（写真3-4）。



図3-1 築年別の分類



図3-2 現状の建物の分類



写真3-1 古き良き街並み



写真3-2 トタン貼りの建物



写真3-3 磁石による差し替え



写真3-4 屋根の色での区別



写真3-5 現状バージョン



写真3-6 提案バージョン



写真3-7 現状バージョン



写真3-8 提案バージョン

4. 古民家活用提案

①旧岡田屋—ゲストハウス・シェアハウス提案

明治時代に弘法宿として使用していた古民家を利用したゲストハウスとシェアハウスの提案である。岡田地区には現在宿泊施設がないため、若い人も気軽に泊まれるグ



写真 3-9 街並み提案模型 現状バージョン



写真 3-10 街並み提案模型 提案バージョン

トハウスを開設することで、より多くの訪問者を取り込むことが期待できる。また、同じ建物内にシェアハウスを設けることにより、住民と観光客との交流が進むと考えた。旧岡田屋の現状と提案を図 4-1 と図 4-2 に示し、図面左側から順に説明したい。「台所」は現状維持とし、「板の間」を「ダイニング」、「6帖」を「リビング」、「8帖」は誰もが出入り可能な「ギャラリー」とする。そして、「物置」「衣裳部屋」「仏間」をゲストハウス、「奥座敷」「控え間」「洋室」をシェアハウスとする。また、現状では水回り空間が少ないため「洋室」隣接室を水回り等に変更して、浴室 2 つ、トイレ 2 つ、洗面台を設けた（写真 4-1）。

各空間で利用する椅子の張地や布団カバー、カーテン等には知多木綿を使用する（図 4-3）。

② 雅休邸—シェアオフィス提案

昭和初期に医院として建設された古民家を利用したシェアオフィスの提案である。知多木綿などを生かした若い人の起業に寄与できるのではないかと考えた。

雅休邸の現状と提案を図 4-4 と図 4-5 に示し、図面左側から順に説明したい。全体として、現状の洋室・和室はできるだけそのままとして、「黒間」「次の間」「座敷」「診察室」をオフィス空間、「待合室」「処置室」を会議室とする。また、コピー室や写真動画撮影室、給湯室も設けた（写真 4-2）。各空間で利用する椅子の張地やカーテン等への知多木綿使用は、旧岡田屋と同じである。

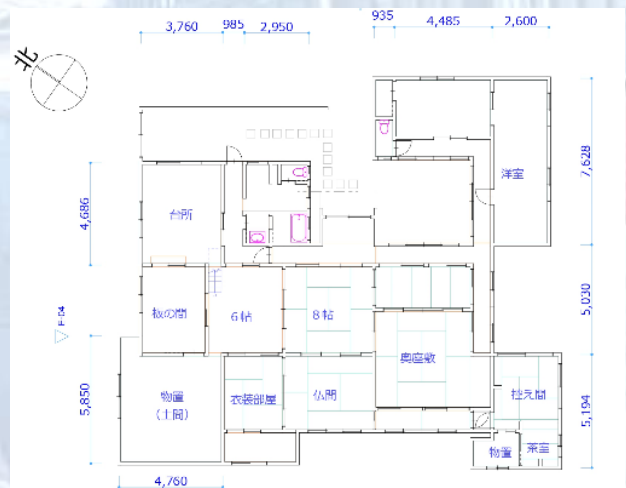


図 4-1 旧岡田屋現状平面図

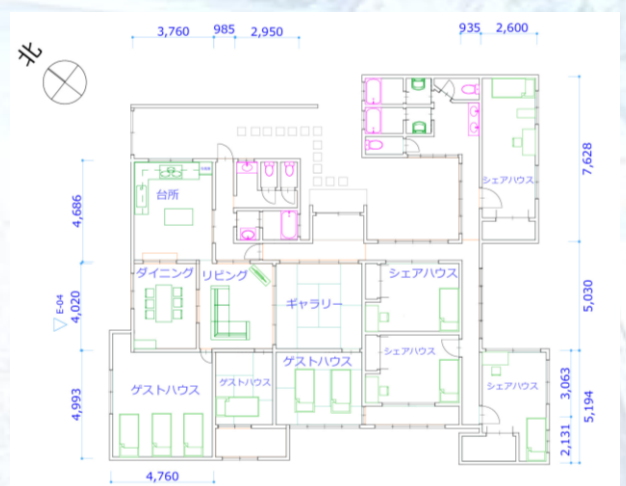


図 4-2 旧岡田屋提案平面図



写真 4-1 旧岡田屋提案模型写真

家具	使用する部分	デザイン
椅子	座面・背もたれ	無地・柄あり
ソファ	座面・背もたれ・肘置き	無地
布団	枕・シート・掛布団	無地・柄あり
カーテン	遮光カーテン	柄あり



図 4-3 知多木綿使用家具等と知多木綿の例



図 4-4 雅休邸 1階現状平面図

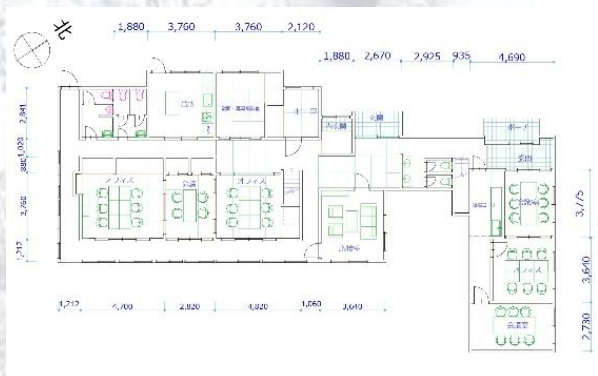


図 4-5 雅休邸 1階提案平面図



写真 4-2 雅休邸提案模型写真

③木綿蔵ちた—木綿糸つむぎ・木綿染め・織り提案

木綿蔵ちたでは、蔵の1階を利用して木綿の機織り体験や販売を行っているが、2階も利用して、糸つむぎ・木綿染め・織り・木綿製品制作・販売を行う提案である。

1階には、織り体験や糸つむぎ、染め体験などのスペースを設け、2階には、休憩や木綿製品制作体験、木綿製品販売などのスペースを設ける。休憩スペースは、体験を行った人だけではなく、岡田地区を散策した人も利用可能とする(図4-6)

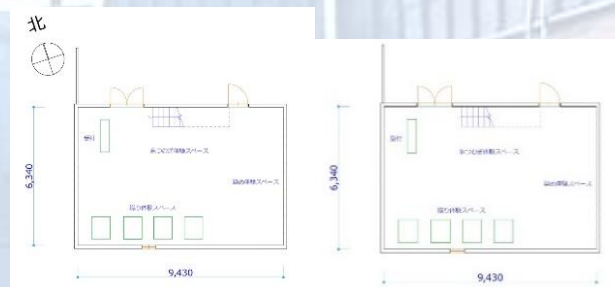


図 4-6 木綿蔵ちた提案平面図

④木綿作品展示とアーティストレジデンス提案

江戸時代に馬の荷下ろしの場として利用されていた古民家の旭屋を利用した、知多木綿による作品展示とアーティストレジデンスの提案である(写真4-3)。

⑤自然な方法による綿花栽培提案

旭屋に隣接する竹林を整備し、自然な方法で綿花栽培を行う提案である。綿花という原料の栽培から体験することによって、知多木綿への理解をさらに深めて、身近に感じてもらいたい(写真4-4)。



写真 4-3 旭屋外観



写真 4-4 竹林

5. SNS発信

①発信内容

岡田地区の登録有形文化財、施設等、飲食店、食レポ、今回企画の活動記録、模型ツール、などを取り上げ、これらのリール動画も含め発信した。

登録有形文化財は、「知多岡田簡易郵便局」「雅休邸」「木綿蔵ちた」「旧中七木綿本店」などである(図5-1)。

施設等は、「知多木綿アンテナショップ478」、雅休邸内の「伝承知多木つものき」、「旧知多貯蓄銀行岡田支店跡(現岡田なごやかサロン)」などである(図5-2)。

食レポは、範丈亭の「お米とお海苔にこだわったおにぎりセット」、かなん堂の「海老の姿焼き」、おかき屋辰心の「みたらし団子」「岡田のカツ丼」、Cafe Novatann の「よしお特製トマトカレー」などである(図5-3)。

企画の活動記録は、「岡田いろはかるたスタンプラリー体験」「街並み保存会会長への聞き取り調査」「岡田屋&雅休邸の計測」などである(図5-4)。

模型ツール作りの様子は、材料準備から地盤作りや建物作りなどについて、「植木を植えた日」「スタイロを並べて家の場所を確認した日」などを順に紹介している(図5-5)。アクセス数の多い投稿は、岡田地区の特徴と魅力紹介の「岡田ってどんなとこ?」及びリール動画である(図5-6)。

②発信媒体

主にインスタグラムで発信した。表紙の画像を作り、自分達で撮影した写真を掲載し、画像の内容が理解しやすいように、文章による補足説明も加えた。8月からは Tik Tok による発信も追加した。

③閲覧者の反応

愛知県知多半島の地域情報雑誌「Step」からは、『面白い活動であるのでこれからもぜひ投稿を見たい』との反応があり、知多市公認キャラクター梅子の公式アカウントからは、『これからもぜひ岡田の魅力を発信してほしい』との反応があった。岡田にある知多市立中央図書館公式アカウントからは、『知多市産業まつりでの活動など Instagram で拝見しています。同じ岡田の施設として応援しております』との反応があった。

④アクセス数(2024.1.8 現在)

アカウントへのアクセス数 16,128、いいね!数 2,168、投稿数 81、フォロワー数 128 人、リーチ数 9,918 とインプレッション 14,456(2023 年 8 月以降)、フォロワーの居住地は、知多市 40.1%、名古屋市 16.5%、常滑市 7.8% など、年齢層は、18~24 歳 41.7%、35~44 歳 22%、25~34 歳 15.7% など、女性 58.1% というように、主に知多市や名古屋市の 18~44 歳の女性に支持されていることがわかる。



図 5-1 登録有形文化財の投稿



図 5-2 施設等の投稿



図 5-3 食レポの投稿



図 5-4 活動記録の投稿



図 5-5 模型作りの投稿



図 5-6 アクセスの多い投稿

この提案が知多市岡田地区の地域活性化に寄与できることを願いたいと思う。